

災害発生時の対応と事前の準備

【災害に備えて準備すべきこと】

1. 家族で話し合う

帰宅できない場合の連絡方法等、話し合っておきましょう。

2. 地域の避難場所の確認

自宅にとどまれないことも想定し、地域の避難場所を確認しましょう。

3. 安否確認手段を決めておく

災害伝言ダイヤル171／災害用伝言版 Web 171／SNSを活用しましょう。

4. 周りの人達と話し合う

しばらく帰宅できないことも想定し、子供やお年寄り等への支援策を事前に話し合いましょう。

5. 徒歩帰宅するための準備

水筒やペットボトル飲料水、充電器、チョコレートやキャラメル、歩きやすい靴、携帯カイロ、タオル等、職場やカバンの中に準備しておきましょう。

6. 職場や避難所で過ごすための準備

ライフラインが復旧するまでの最低3日間分の飲料・食料・簡易トイレ等、災害時には手に入りにくくなります。必要なものを確認し、準備しておきましょう。

【災害発生時の対応】

1. むやみに移動を開始しない

災害が発生した時は、むやみに移動せず安全な場所にとどまりましょう。道路や歩道が人であふれると消防車や救急車の妨げになり、助かる命を救えません。

2. 身の安全の確保

机の下やカバンで頭を守る等、安全の確保をしましょう。

3. 正確な情報を入手

落ち着いて、ラジオや TV、携帯電話等で正確な情報を収集しましょう。

4. 駅周辺に近づかない

交通機関が停止すると駅周辺は、大変混雑します。極力近づかないようにしましょう。

5. 家族の安否確認

電話はとても繋がりにくくなります。事前に決めた通話以外の手段で連絡を取りましょう。

6. 安全な場所にとどまる

十分な情報がないまま移動をするのは大変危険です。

状況が確認できるまで、安全な場所へとどまりましょう。

7. 安全に歩いて帰宅

しばらく安全な場所へとどまり、「安全」の確認がとれてから徒歩帰宅をしましょう。

【災害ステーションの活用】

徒歩帰宅者への支援の一環として、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、コンビニエンスストア等で、水道水、トイレ、TV 及びラジオ等からの災害情報の提供をしています。